

平成 28 (2016) 年度

事業報告書

自 平成 28 年 4 月 1 日

至 平成 29 年 3 月 31 日

公益財団法人九州盲導犬協会

福岡県糸島市東 7 0 2 番地 1

盲導犬育成事業<公益目的事業1>

1. 視覚障害者に対する盲導犬の無償貸与と生活訓練等の実施について

(1) 盲導犬貸与頭数

①平成28年度は、盲導犬希望者に6頭の盲導犬を無償貸与した。

- ・代替2頭（長崎県1、広島県1）
- ・新規4頭（佐賀県1、山口県1、大分県1、沖縄県1）

②盲導犬貸与数

- ・貸与頭数累計233頭（タンデムを含む貸与者数241名）
- ・平成29年3月末現在の実働盲導犬46頭（盲導犬使用者47名）

(2) 公正な盲導犬貸与

盲導犬貸与規程ならびに盲導犬貸与審査に関する規定に基づき、公正な盲導犬貸与を目的に審査会を4回開催、盲導犬貸与申込者の選定および共同訓練等に関する審査を実施した。

(3) 盲導犬使用者に対するフォローアップ

- ①貸与後1年以内のフォローアップを充実させるとともに、盲導犬使用者が安全な歩行及び生活が継続できるようフォローアップの充実を図った。（期中フォローアップ件数は72件）
- ②九州盲導犬友の会の総会（7月）への参加、盲導犬使用者駅ホーム転落事故防止の勉強会（3月）等を行い、視覚障がい者の社会参加を支援した。

2. 犬の飼育および訓練について

(1) 繁殖について

- ①期中子犬33頭（当協会出産子犬36頭-他協会譲渡子犬4頭+他協会譲受子犬1頭）を確保した。
- ②平成29年3月末の繁殖犬数は17頭（雄7頭、雌10頭）である。
- ③繁殖犬飼育委託家庭7件に対し、定期訪問42回を実施した。
- ④AGBN加盟協会との繁殖協力の維持・発展に努めた。

(2) パピーウォーキングについて

- ①期中延べ33頭の子犬を飼育委託した。
- ②期中飼育講習会21回、飼育家庭訪問回数77回を行い、飼育指導に力を注いだ。

(3) 候補犬の訓練について

犬の稟性・健康評価と並行して訓練評価を定期的実施した。

(4) 盲導犬の健康管理について

フォローアップ時に盲導犬の健康状態を聴取して健康維持のための指導・助言を行った。

- ・今年度も福岡県をはじめ各県獣医師会及び動物病院各位のご支援・ご協力で、盲導犬医療特別措置（混合ワクチン接種など）を継続実施していただいた。

- (5) 繁殖犬・リタイア犬等のケアについて
飼育ボランティアおよび獣医師と連携して、それぞれの犬の健康管理に努めた。
期中の盲導犬の引退頭数は5頭、期末の飼育委託頭数は35頭である。
- (6) 犬舎管理について
犬舎担当職員・訓練士が連携して最大管理頭数35頭の犬舎の衛生管理及び犬の健康管理に努めた。

3. 盲導犬訓練技術の向上について

- (1) OJTにより業務に必要な知識・技術を習得させるとともに、更なるレベルアップを図った。
- (2) 平成28年5月クロアチアで開催の国際盲導犬連盟のセミナーに職員2名を派遣、平成29年2月神奈川県で開催の全国盲導犬施設連合会主催の盲導犬育成ジャパンセミナーに職員4名を研修派遣して技術及び知識の向上を図った。

4. 関係団体への協力について

- (1) 日本盲人社会福祉施設協議会、全国盲導犬施設連合会、九州盲導犬友の会、県市社会福祉協議会等の関係団体が実施した福祉事業に協力し、福祉の向上に努めた。

普及啓発事業＜公益目的事業2＞

1. 視覚障がい者に対する普及啓発活動について

5月伊万里市視覚障害者協会の盲導犬体験歩行会・9月訓練センター体験歩行会・10月糸島市市民まつり・11月福岡視力障害センター「視覚障害者福祉フェスティバル」・12月福岡市「障がい者週間記念の集い」等にて、盲導犬体験歩行やデモンストレーションを実施して盲導犬の普及啓発に努めた。

2. 盲導犬普及啓発街頭活動について

- (1) 盲導犬使用者、ボランティア、各地区ライオンズクラブ、西日本高速道路サービスなど多くの方々の協力を頂き、各地の動物愛護祭やイベントに参加して、盲導犬を中心とした補助犬の受入れの理解と普及啓発に努めた。
- (2) RKB毎日放送株式会社実施の「いっしょに歩こう！RKBラジオ盲導犬募金」キャンペーンでは、福岡県内の715郵便局に募金箱設置の協力をいただいた。また、10月開催のRKBラジオまつりの特設ステージで、盲導犬訓練デモンストレーションと併せて身体障害者補助犬法を広報して盲導犬の普及啓発を図ることが出来た。RKBラジオ盲導犬募金に多くの皆様から盲導犬募金（計4,018,021円）の協力をいただいた。

3. 実演・講演・体験歩行会の実施について

小中学校の視覚障害者福祉学習に講師を派遣して講演・実演 23 回、視覚障がい者の体験歩行会 12 回を実施、盲導犬を主体とした補助犬の普及啓発に努めた。

4. 一般社会への啓発活動について

総合訓練センターにおいて、一般見学会を毎月 1 回（12 月除く）開催し、年間延べ 521 名の見学者が来所した。一般見学会とは別に 37 団体 1,010 名に対する団体見学会を実施、その他のセンター来所者と合わせ約 3,100 名の方々に、盲導犬並びに身体障害者補助犬法について啓発活動を行うことが出来た。

5. ホームページ及び協会報による広報活動について

- (1) ホームページを使って、タイムリーな情報の発信に努めた。
- (2) 協会報「ハーネス九州」を福岡県共同募金会からの配分金 80 万円をもとに、年 2 回（2 月、8 月）計 18,000 部発行し、盲導犬使用者及び盲導犬受入れへの理解や身体障害者補助犬法等に関する情報提供に努めた。

6. 相談業務について

盲導犬貸与希望、盲導犬使用上の苦情、盲導犬受入れ拒否、盲導犬受入れ事業者からの相談、ボランティアの申出など苦情や相談に迅速に対応した。

管 理 部 門

1. 理事会・評議員会を適時に開催して健全な協会運営に努めた。

- (1) 理事会を次のとおり、4 回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 28 年 5 月 23 日	・平成 27 年度事業報告及び財務諸表について ・定時評議員会の開催について
平成 28 年 6 月 9 日	・代表理事及び業務執行理事の選定について
平成 28 年 11 月 8 日	・職員の採用について ・犬舎空調設備の改修事業計画について
平成 29 年 3 月 16 日	・平成 29 年度事業計画及び収支予算について ・評議員会の開催について

- (2) 評議員会を次のとおり、2 回開催した。

開催年月日	主な決議事項
平成 28 年 6 月 9 日	・平成 27 年度事業報告及び財務諸表承認について ・理事及び監事任期満了に伴う選任について
平成 29 年 3 月 29 日	・平成 29 年度事業計画及び収支予算について

2. 賛助会員について

今期末の会員数は660件（前期比81件増）である。

3. 募金箱・盲導犬自販機について

- (1) 今期末の募金箱設置先は1,787件（不活動募金箱整理により前期比163件減少）である。
- (2) 今期末の盲導犬自販機設置先は83カ所（前期比10カ所減）である。

4. 職員に関する事項について

職員在籍状況

平成29年3月31日現在

部 署	職 種	正 職 員	アルバイト・パート
管理部門	管 理 ・ 事 務	※3名	1名
事業部門 (盲導犬育成) (普及啓発)	盲導犬歩行指導員	3名	
	盲導犬訓練士	3名	
	研 修 生	1名	
	ケネルスタッフ他		3名
計		10名(前期比△1)	4名(前期比△1)

※3名（常勤理事1名を含む）

5. 施設について

- (1) 施設（総合訓練センター）の場所；福岡県糸島市東702番地1
- (2) 敷地面積；4,133.39㎡
- (3) 建物
 - ・管理棟（主な建物）
（構造等）鉄筋コンクリート造 3階建て 1,479.11㎡
（主な設備）事務室、食堂、厨房、男女浴室、共同訓練生宿泊室（6室）
多目的ホール、犬用医務室、相談室、会議室、
 - ・犬舎棟
（構造等）鉄筋コンクリート造 平屋建て 574.25㎡
（主な設備）繁殖犬舎、第1犬舎、第2犬舎、犬具・フード倉庫、シャワー室
- (4) 太陽光発電設備；太陽電池出力 48kw

事業報告の附属明細書

特に記載すべき事項はありません。